

強く明るく山形中央！

5月8日、9日に地区高校総体が開催されます。2年振りの春です。この大会は全国大会につながることはもちろんですが、選手たち、そのご家族、関係者の方々のこれまでの歩みを発表する唯一無二の大会です。昨年の卒業生たちがどうしても出場したかった大会です。今年は昨年よりも、強く明るく倍返しで挑んでください！ 激励を込めて、2021年No.35の翔友にある体育部長（佐藤孝夫先生）の言葉を紹介致します。『**本物のアスリートは、身体的に優れ、専門的な技術を持ち合わせているだけでなく、どのような局面でも、とらえ方を変えて、工夫して、これからどうやっていくかを常に模索しています。その意味でこのコロナ禍の時期は、現実をどう捉えて、どう行動していくといったことが試された時期でした。「一人になりて、強き者は真の勇者なり」という言葉が思い出されます**』最後に、『**ひととして大きく成長できたと言えるように期待しています**』と締めくくられています。

強いチームは群れをなすことを嫌います。ただの仲良しグループは現実を受け入れず、環境や人のせいにして、不平不満や愚痴を吐きます。いいわけは天に向かって唾を吐いているようなもので、必ず自分に返ってきます。いいわけをしないで潔く目の前の勝負に挑むためにはどうすればいいでしょうか？ 卒業生たちに教えてもらった解は、チーム山形中央を強くするためには「勝つ」ことにどれだけこだわれるかです。勝利至上主義ということではありません。チーム全員が「どうしたら勝てるのか」いつでも、どこでも、一人の時間でも考えていけば、**心構え、面構え、身構えが整い、本番に強い山形中央**になるでしょう🍀

